



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブレディア都筑ふれあいの丘	階数	地上7F、地下1F
建設地	神奈川県横浜市都筑区葛が谷14番3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 竣工	評価の実施日	2019年12月9日
敷地面積	535 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社エフ・アイ・オー アソシエイツ
建築面積	449 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月9日
延床面積	3,108 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社エフ・アイ・オー アソシエイツ

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 83%

③上記+②以外の: 83%

④上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	駅に続く歩行者専用道路添いはセットバックし植栽帯としたり、地域の人がだれでも座れるベンチを設ける等、まちづくりに配慮した建物としている	その他
Q1 室内環境	高い屋光率を確保し、F☆☆☆☆の建材を採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	断熱等性能等級3	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	住宅性能評価における劣化対策等級3としている	敷地内を適切に緑化している。
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材のみを採用している	LR3 敷地外環境
		光害対策ガイドラインのチェックリスト過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

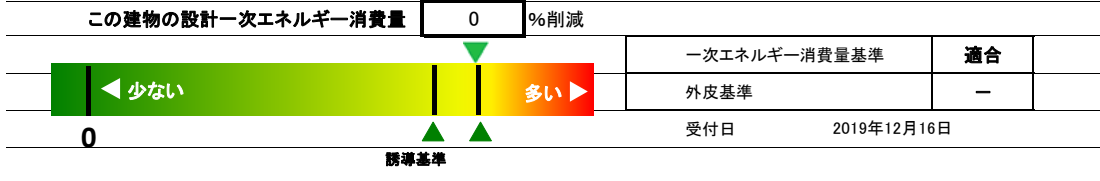


### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。 建物名称 **プレディア都筑ふれあいの丘**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性能等級3以上

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **2**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯劣化対策等級3を取得予定

⑰災害時にCATVによって災害情報を入手できる

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境 ㉑まちなみ・景観 ㉒地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	

# CASBEE<sup>®</sup>横浜 | 評価結果 | 31-120



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
フレディア都筑ふれあいの丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>					-		-			<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.8</b>
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	1.00			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	3.0	1.00			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				<b>3.0</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.7</b>
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.50			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			-
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 プレディア都筑ふれあいの丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	3.2
<b>1 機能性</b>				3.1	0.40	3.8	1.00	3.5		
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	-		
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	5.0	1.00	-		
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	1.00	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40	-		
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	3.0	0.50	-		
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	-	-	-		
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	1.00	1.0	0.50	-		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性		4.0	0.50	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.1	0.30	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-		
1 耐震性	防災	⑮耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-		
2 免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-	-		
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性		-	-	-	-	-		
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性		3.0	0.25	-	-	-		
3 電気設備	防災	⑰信頼性		3.0	0.25	-	-	-		
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性		3.0	0.25	-	-	-		
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性		4.0	0.25	-	-	-		
<b>3 対応性・更新性</b>				3.0	0.30	2.8	1.00	2.8		
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50	-		
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60	-		
2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40	-		
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	-		
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	-		
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-		
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	2.5		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑱生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑲まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.5	0.30	-	-	2.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑳地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑲敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.2		
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		3.0	0.50	-	-	3.0		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 プレディア都筑ふれあいの丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
								<b>LR2 資源・マテリアル</b>		
<b>1 水資源保護</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>		
1.1 節水				<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.0</b>	0.60	-	-			
1.2.1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>3.2</b>	0.60	-	-	<b>3.2</b>		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-			
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>4.0</b>	0.70	-	-			
3.2.1 消火剤				-	-	-	-			
3.2.2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-			
3.2.3 冷媒				3.0	0.50	-	-			
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	<b>3.2</b>		
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>		
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>		
2.1 大気汚染防止				<b>3.0</b>	0.25	-	-			
2.2 温熱環境悪化の改善				<b>3.0</b>	0.50	-	-			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>2.7</b>	0.25	-	-			
2.3.1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			
2.3.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>3.0</b>	0.40	-	-			
3.1.1 騒音				3.0	1.00	-	-			
3.1.2 振動				-	-	-	-			
3.1.3 悪臭				-	-	-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				<b>3.0</b>	0.40	-	-			
3.2.1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			
3.2.2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			
3.2.3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			
3.3 光害の抑制				<b>4.4</b>	0.20	-	-			
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			
<b>上記以外の重点項目</b>						-	-			
<b>&lt;事務所用途&gt;</b>						-	-			
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>						-	-			
<b>健康と安心</b>						-	-			
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	5.0	-	-	-			
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	4.0	-	-	-			